

新しい年を迎えて

小坂町長 細越 満



終えた12歳以上の接種率が93%を超えました。町民の皆さまの接種に対する高い意識により、町全体の安全・安心が高められたと思っております。

また、コロナ禍が長期化するなか、町民の皆さまが安心して生活できるよう、家計への支援や地域経済活性化対策として地域応援商品券を発行するなど、さまざまな支援策を実施してまいりました。

まだまだ収束が見通せない状況ではありますが、引き続き、国や県の方針を見極めながら、感染拡大を防ぐ対策、地域経済や住民生活を守る支援策については、万全を期してまいります。

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、前年から続くコロナ禍の影響により、ゴールデンウィークやお盆の時期などには、緊急事態措置区域をはじめとする県外との往來の自粛要請やイベント・行事の中止などもあり、息苦しさを感じられるような生活が続いて、我慢を強いられた1年であったと思います。

そうしたなかで、4月末から始めたワクチン接種は、9月27日までの実施期間中に、2回の接種を

農業所得の向上をめざすために、米だけに頼らない力強い農業の推進にも取り組んでまいりました。「小坂町畑作振興センター」を新たな拠点として増築等の整備を行いました。4年目となったジャガイモ栽培は、ジャガイモ栽培受託組織「小坂町ポテトコントラクター」を設立し、品質も安定し、収穫量も増えていることからさらなる増産を期待しております。

10月には、令和2年6月から長期休業していた老人憩いの家あかしや荘が、改修工事を終えて営業を再開することができました。今後も多くのご利用をお待ちしております。

魅力あるまちづくりを進めることとはもちろん、町を活気に満ちあふれさせるためには、若者世代に町に住み続けてもらうことが、一番の近道であると思います。このためにも、若い世代の方に「小坂町に住んでみたい」と思っていただけに、住環境整備や、福祉・教育等の各種施策による子育てしやすい環境整備を継続して進

めてまいります。

また、十和田八幡平国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化を図るために、十和田湖和井内地区に「道の駅」の整備を進めています。十和田湖への玄関口として、また地域ブランド「十和田湖ひめます」の認知度向上及び観光の回遊ルートの拠点として、国内外の多くの観光客に十和田湖の魅力発信できるよう、令和5年度のグランドオープンに向け整備を進めているところです。令和4年度は主に駐車場と建物内部の展示施設等の工事を行います。

小坂町には、先進的な循環型社会への取り組みと、鉾山町を支えた近代化産業遺産があります。十和田湖をはじめとする自然と共生する豊かな環境もあります。これらの豊富な資源を活用しながら各種施策を推進することで、住民が愛着を持ち、訪れる人が感動するまちづくりとなるよう、皆さまのご協力のもと、職員と一丸となって誠心誠意取り組んでまいり所存であります。

結びにあたり、町民皆さまの変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。